

令和5年度第1回東久留米市健康づくり推進協議会 議事録

- 1 日 時 令和5年5月22日（月）午後1時30分～午後3時
- 2 場 所 わくわく健康プラザ1階講堂
- 3 出席者 委 員 前田委員 熊野委員 大高委員 大槻委員 土屋委員
宮本委員 鷹羽委員 井原委員 嘉喜田委員
山田委員 金子委員 當真委員 戸張委員
事務局 福祉保健部長 健康課長 保健サービス係長
特定健診係長 健康課職員6名
- 欠席者 委 員 早田委員
- 傍聴者 なし
- 4 次第内容 (1) 開会
(2) 議題
1) 令和5年度 健康増進事業予定について
・各種健（検）診事業について
・健康増進事業等日程予定について
2) 市健康増進計画「わくわく健康プラン東くるめ（第2次）」について
①市健康増進計画推進体制について
②東久留米市健康づくり推進部会第IV期（1年目）令和4年度活動実績について
③令和5年度わくわく健康プラン東くるめ（第2次）の推進スケジュールについて
3) 「健康に関するアンケート」について
・東久留米市「健康に関するアンケート」の実施について（概要）
・アンケートの質問一覧（こども、青・壮年期・高齢期）について
(3) その他
- 5 配布資料 資料1－1 東久留米市健康づくり推進協議会設置要綱
資料1－2 東久留米市健康づくり推進部会運営要領
資料2 東久留米市 健（検）診のご案内（令和5年度 保存版）
資料3 令和5年度 健康増進事業日程予定（保健サービス係）
資料4 市健康増進計画推進体制について
資料5 第IV期（1年目）令和4年度東久留米市健康づくり推進部会活

動実績

- 資料6 令和5年度わくわく健康プラン東くるめ（第2次）の推進スケジュール
- 資料7-1 東久留米市「健康に関するアンケート」の実施について（概要）
- 資料7-2 東久留米市「健康に関するアンケート」質問案一覧（こども）
- 資料7-3 東久留米市「健康に関するアンケート」質問案一覧（青・壮年期、高齢期）

6 会議内容

(1) 開会

- 1) 東久留米市健康づくり推進協議会の設置について

【事務局より説明】

資料1-1、1-2について説明

- 2) 委嘱書交付
- 3) 福祉保健部長挨拶
- 4) 出席委員の報告 出席者13名、欠席者1名で過半数に達しており会議は成立
傍聴者の確認 傍聴者なし
- 5) 委員の自己紹介
- 6) 会長・副会長の選出
会長前田委員、副会長熊野委員選出
- 7) 資料確認

(2) 議題

- 1) 令和5年度 健康増進事業予定について

- ・各種健（検）診事業について
- ・健康増進事業等日程予定について

(事務局)

資料3、4について説明

(会長)

以上の説明について質問・意見等はないか。

(全委員)

特になし

- 2) 市健康増進計画「わくわく健康プラン東くるめ（第2次）」について

- ①市健康増進計画推進体制について
- ②東久留米市健康づくり推進部会第IV期（1年目）令和4年度活動実績について
- ③令和5年度わくわく健康プラン東くるめ（第2次）の推進スケジュールについて

(事務局)

資料5、6、7について説明

(会長)

65歳健康寿命は全体的に少し停滞している状況で、東久留米市でも下がっている。要因として何か推察することはあるか。

(事務局)

東久留米市の女性が東京都で1位ということは非常に嬉しく思っている。男性が下がっていることについての要因は分からない。

(会長)

全体的に下がっているのには様々な説もある。やはりコロナ禍で活動が低下したためフレイル等の進行が要因と考えられるが、これは今後の様々な調査研究を待ちたいと考えている。

3) 「健康に関するアンケート」について

- ・東久留米市「健康に関するアンケート」の実施について（概要）
- ・アンケートの質問一覧（こども、青・壮年期・高齢期）について

(事務局)

資料8-1、2、3について説明

(会長)

「健康に関するアンケート」について質問・意見はあるか。

(委員)

スケジュールでは7月にアンケート実施、8月から2月に集計、調査報告書作成、3月に調査報告書配布とある。アンケート内の自殺に関する質問だが、この中の非常に悩ましい緊急性を感じるような設問に対してアラームをつけ、ピックアップしてフォローする体制はあるのか。

(事務局)

調査は無作為抽出かつ無記名で実施する必要がある、調査票は誰に送ったかが分からないようにしているため、把握はできない。平成30年度の「こころの健康に関するアンケート」での子どもについては、実際どうなのかを質問しているのではなく、「消えてしまいたくなったり、いなくなってしまうたくなったり、誰かに相談すると思いますか」という設問になっていた。大人に関しては、「自殺したいと思った時、誰かに相談しましたか」という設問になっていた。直近の悩みである場合は非常に気になるが、特定することは調査上できない。

実際、前回のアンケートでは、「相談先を知らない方」が「相談しない」という結果があった。市としては相談先が分かるように啓発用パンフレットを作成し、市役所内や市内関係機関に設置し市ホームページなどでも周知している。毎年9月と3月には自殺対策強化月間キャンペーンという時期があり、その時には広報でも周知しパネル展示も行っている。また市ホームページに、悩んだ時に相談先が分かるように常時掲載している。

今回のアンケートも同様に大変センシティブな質問内容もあるので心配だが、今回の調査票（子ども・大人）にも相談先（2次元コード）を掲載して相談先に繋がるようにしていく予定である。

（委員）

無作為の抽出法で合計 3000 人となっているが、人口に対して何%など根拠の数値はあるのか。

（事務局）

市の調査の場合、他の調査でも人口に対して計算して大抵 2000 人としていると思う。今回 3000 人としたのは、他の調査の場合では子どもを含めていないが、今回の調査は子どもを含み、子どもは回収率が低くなるということがあり、コンサルティングを受け 3000 人とした。

（会長）

回収率はどのくらいを見込んでいるのか。

（事務局）

子どもについては、平成 26 年度の「健康に関する状況調査」では小・中学校に協力していただき回収率はほぼ 100%であった。しかし、平成 30 年度の「こころの健康に関するアンケート」は、かなりセンシティブな内容というところもあり無作為抽出に変更し、回収率（全世代）は 34.3%であった。約 3 割と低いが今回もこの位を想定している。

（会長）

インターネット回答にすると、若年者は比較的回収率が良くなることもあるので期待したいと思う。

これまでも東久留米市は、非常に活発に健康づくりの事業活動がされている。今回のアンケートが有効に現状についての分析がなされ、次の計画に結びつけばいいと思う。

（3） その他

【事務局より事務連絡】

健康づくり推進員活動報告、パネル展示の日程について

令和 5 年度 第 2 回健康づくり推進協議会開催日程について

令和 6 年 2 月 6 日（火）午後 1 時半～3 時 会場：わくわく健康プラザ

以 上